

創造から新天新地へ—24章でたどる神の救済史

17章 「教会誕生の予告」

マタイの福音書 16章

1. はじめに

(1) これまでの流れ

- ①創造 — 神は人を神のかたちに造られた。
- ②墮落 — 罪によって人類は神から離れた。
- ③契約の歴史 — 神はアブラハム契約を通して救済計画を開始された。
- ④イスラエルの使命 — メシアを世に送り出す民として選ばれた。
- ⑤メシア到来 — イエスは約束のメシアとして来られた。
- ⑥御国の提示 — 山上の垂訓によって御国の義が示された。

(2) マタ16章の役割

- ①しかし、ここで大きな問題が生じる。
- ②イスラエルはメシアを受け入れるのか、それとも拒否するのか。
- ③マタ16章は、この問いに対する回答である。
- ④イスラエルの拒否が明らかになり、救済史は新しい段階へと進む。
- ⑤それが教会時代である。

マタ16章は、救済史における「決定的な転換点」である。

この章に登場する3つの宣言がそれを証明している。

I. メシアの正体が告白される(13~16節)

1. 場所

(1) ピリポ・カイサリア地方

- ①イスラエルの地の最北端
- ②ヘロデ・ピリポがカイサルに献上した町
- ③地中海に面したカイサリアと区別するための名称
- ④現代のバニマス

(2) イエスは弟子たちをリトリートへと導かれた。

- ①自分がメシアであることを教えるのが弟子訓練のピークである。

2. 方法(13~16節)

Mat 16:13 さて、ピリポ・カイサリアの地方に行かれたとき、イエスは弟子たちに「人々は人の子をだれだと言っていますか」とお尋ねになった。

Mat 16:14 彼らは言った。「バプテスマのヨハネだと言う人たちも、エリヤだと言う人たちもいます。またほかの人はエレミヤだとか、預言者の一人だとか言っています。」

Mat 16:15 イエスは彼らに言われた。「あなたがたは、わたしをだれだと言いますか。」

Mat 16:16 シモン・ペテロが答えた。「あなたは生ける神の子キリストです。」

(1) イエスの問い

「人々は人の子をだれだと言っていますか。」

①「人の子」はメシアの称号

(2) 弟子たちの答え

①人々はイエスを「偉大な宗教的人物」とは認めていた。

②しかし、メシアだとは理解していなかった。

* バプテスマのヨハネ

* エリヤ

* エレミヤ

* 預言者の一人

(3) イエスの問い

「あなたがたは、わたしをだれだと言いますか。」

①傍観者でいることを許さない質問

(4) ペテロの答え

「あなたは生ける神の子キリストです。」

①新約聖書における最も重要な信仰告白の一つ

②イエス＝メシア＝神の子

3. この啓示の源 (17 節)

Mat 16:17 すると、イエスは彼に答えられた。「バルヨナ・シモン、あなたは幸いです。このことをあなたに明らかにしたのは血肉ではなく、天におられるわたしの父です。」

(1) 啓示の源は、天の父である。

①この信仰告白は、人間の理解ではなく、神の啓示によるものである。

II. 教会誕生が予告される (18～19 節)

1. 聖書の中で初めて「教会 (エクレシア)」ということばが登場する (18 節)。

Mat 16:18 そこで、わたしもあなたに言います。あなたはペテロです。わたしはこの岩の上に、わたしの教会を建てます。よみの門もそれに打ち勝つことはできません。」

(1) 教会の建設宣言

「わたしはこの岩の上に、わたしの教会を建てます。」

- ①教会はまだ存在していない。
- ②教会はイエスが建てる。
- ③教会は将来に属する計画である。
- ④教会は旧約時代には存在しなかった新しい共同体である。
- ⑤ユダヤ人と異邦人が一つになる「新しいひとりの人」である。

(2) 岩とは何か

- ①ペテロの信仰告白
- ②教会の土台は、「イエスはキリストである」という信仰告白である。

(3) 教会の勝利の保証

「よみの門もそれに打ち勝つことはできません。」

- ①ペテロが死んでも教会は存続する。
- ②これは、教会が歴史の中で滅びないことの保証である。
- ③ローマ帝国も、迫害も、異端も教会を滅ぼすことはできない。

2. ペテロの使命 (19節)

Mat 16:19 わたしはあなたに天の御国の鍵を与えます。あなたが地上でつなぐことは天においてもつなぐれ、あなたが地上で解くことは天においても解かれます。」

(1) 天の御国の鍵

- ①ユダヤ人、サマリア人、異邦人を救いに導く役割

(2) 「つないだり、解いたり」する役割

- ①メシアの律法を解釈し、適用する役割

III. 十字架の道が宣言される (21~28節)

1. 受難の予告 (21節)

Mat 16:21 そのときからイエスは、ご自分がエルサレムに行って、長老たち、祭司長たち、律法学者たちから多くの苦しみを受け、殺され、三日目によみがえらなければならないことを、弟子たちに示し始められた。

(1) 救いは十字架によって完成する。

- ①十字架は救済史の中心である。

2. ペテロの失敗 (22節)

Mat 16:22 すると、ペテロはイエスをわきにお連れして、いさめ始めた。「主よ、とんでもないことです。そんなことがあなたに起こるはずがありません。」

- (1) ペテロはこれを受け入れられない。
 - ①彼は栄光のメシアは理解していた。
 - ②しかし、受難のメシアを理解していなかった。

3. イエスの叱責 (23節)

Mat 16:23 しかし、イエスは振り向いてペテロに言われた。「下がれ、サタン。あなたはわたしをつまずかせるものだ。あなたは神のことを思わないで、人のことを思っている。」

- (1) イエスの応答
 - ①ペテロの考えはサタンから出たものである。

4. 弟子の条件 (24～25節)

Mat 16:24 それからイエスは弟子たちに言われた。「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負って、わたしに従って来なさい。」

Mat 16:25 自分のいのちを救おうと思う者はそれを失い、わたしのためにいのちを失う者はそれを見出すのです。

- (1) ここで示される原則
 - ①十字架 → 栄光

結論：今日の信者への適用

1. 私は、イエスを正しく告白する信仰を持っているか。
 - (1) 「あなたがたは、わたしをだれだと言いますか。」
 - (2) これは、すべての人に向けられている問いである。
 - (3) 人々はイエスを様々に評価する。
 - ①偉大な教師、宗教家、預言者
 - ②しかし、それだけでは不十分である。
 - (4) 「イエスは生ける神の子キリストである」という信仰が必要である。
 - (5) これは、神の啓示によって与えられる確信である。

2. 私は、教会の一員として生きているだろうか。
 - (1) 「わたしはこの岩の上に、わたしの教会を建てます。」
 - (2) 教会は、キリストご自身が建てておられる共同体である。
 - ①信者の集まり
 - ②キリストのからだ

③神の家族

- (3) 「よみの門もそれに打ち勝つことはできません。」
- (4) クリスチャンは、教会の一員として忠実に仕えるべきである。

3. 私は、十字架の道を歩む覚悟を持っているだろうか。

- (1) 「自分を捨て、自分の十字架を負って、わたしに従って来なさい。」
- (2) これは、弟子道の本質を示すことばである。
- (3) ペテロもこの本質を理解できなかった。
- (4) 聖書が示す原則は、十字架 → 栄光である。
- (5) キリストに従う者は、最終的に新天新地の栄光にあずかる。

次回：マタイの福音書 26章